
[illegible]

Contents

- 02 キャンパス風景
- 04 **特集**『大学紹介動画2020』公開！
- 06 ラジオ番組『天伯之城 ギカダイ』より
- 08 ギカダイ生の今！『海外留学で見た景色』
- 10 輝くギカダイ卒業生
- 11 News & Topics ／役員からのメッセージ
- 12 ギカダイ百景



「大学紹介動画2020」公開！

Toyohashi University of Technology Introduction Video 2020

● 豊橋技術科学大学がよくわかる！ ギカダイの「今」を徹底取材し、3つの動画にまとめました。

ギカダイ全体をまるっと理解したい方はコレ！



こちらからご覧下さい



1.『全体版』

(日本語版・英語版)

ナレーションと学生インタビューで、大学全体をまるっとご紹介。

愛知県豊橋市の南部に位置し、自然豊かな丘の上に、充実した学習環境を整え、創造的かつ実践的な技術の開発を要とする教育研究を行う、工学系の国立大学です。

動画の注目シーン



①波のり部
大学から車で10分の表浜海岸でサーフィンするサークル「波のり部」



②自動車研究部
学生フォーミュラ大会に参戦中のサークル「自動車研究部」



③TUT EXPO
留学生の母国の伝統舞踊などが披露され、グローバルな環境を体感できるイベント「TUT EXPO」

研究分野を知りたい方はコレ！



2.『課程紹介版』

(日本語版・英語版)

5つの課程・専攻を、5人のギカダイ生がご紹介。

機械工学	○機械・システムデザインコース ○システム制御・ロボットコース	○材料・生産加工コース ○環境・エネルギーコース
電気・電子情報工学	○材料エレクトロニクスコース ○集積電子システムコース	○機能電気システムコース ○情報通信システムコース
情報・知能工学	○コンピュータ・データサイエンスコース ○ヒューマン・マシンインテリジェンスコース	
応用化学・生命工学	○応用化学コース	○生命工学コース
建築・都市システム学	○建築コース	○社会基盤コース



学生生活のイメージを知りたい方はコレ！



3.『キャンパスライフ版』

(日本語版・英語版)

図書館・学生宿舎・サークル活動など、ギカダイでの学生生活をご紹介。

ギカダイの雰囲気は・・・
都内の大学と比べても のんびりとした雰囲気が流れていて自分のペースで過ごせます
とても静かで 研究や勉強に打ち込める環境です
キャンパスは広く 緑が豊かで綺麗な風景が広がっています
研究の息抜きや運動不足解消のために 学内を散歩することも・・・



動画出演学生インタビュー

「グローバルな環境」

留学することでしか得ることの難しいと考えていた環境に 日本国内で出会え非常に嬉しいです

TUTグローバルハウス入居学生
情報・知能工学 学部3年/GAC

東 昭太郎さん

留学生の数が多く、日常において複数の文化や言語が交わるのが当たり前の環境です。TUTグローバルハウスは、日本では珍しい、シェアハウス型の宿舎で、日本人・留学生が複数で1ユニットとなり一緒に生活を送ることで、文化交流や語学の上達に繋がっています。また、TUTグローバルハウスは、一番古い棟でも2年前に建てられた非常に綺麗な宿舎で、入居者同士で自由に交流のできるアセンブリルームという専用の集会施設があるなど、様々な面で充実した環境が整っていると感じています。

ユニット内では、メンバー全員で話し合い、生活におけるルールを設けています。月に1度ほど定期的にミーティングを行ったり、休日などメンバーで都合が合うときには一緒に料理を作ってパーティをするなど、とても楽しい時間を過ごしています。自分一人だけで住んでいるわけではないので、掃除などに対してもほどよい緊張感と義務感が生まれ、より自立した人間として成長していると感じます。

「サークル活動に熱中」

豊技大に入った理由はロボコンが強かったから！目標はロボコンでの優勝です

ロボコン同好会
機械工学 学部3年

井上 晴渡さん

ロボコン同好会はNHK学生ロボコンに向けて活動しています。目指すはただ一つ、優勝です。大学で学ぶ知識の応用だけでなく、独学による技術が要求される厳しい環境ですが、部員はそれぞれの役割をこなすため日々努力しています。

部内でアイデアなどについて話し合うときは、常に合理性が求められるため、妥協しないという少し厳格な雰囲気ですが、加工や組み立ての際は冗談を交えた会話をしながら、明るい雰囲気です。(もちろん安全は何よりも優先します)

授業の空きコマを利用して課題などをこなすことで、放課後・休日に時間を作って課外活動(サークル活動)を思いっきりやっています。

同好会の代表という立場になって、人員の配置、タスクの分配などのマネジメントを多く学びました。今後もさらに多くのことを学んで成長したいと考えています。

「女性も快適」

理系の大学の中では女性が過ごしやすい環境にあると思います

応用化学・生命工学
博士前期1年

春田 夏輝さん

図書館がリニューアルされ、女性専用の休憩スペースがある上に、女性が少ないにも関わらずお手洗いの数も十分に綺麗です。

私の学科では主に化学工学と生命工学について学んでいます。研究室では細胞とプラズマを扱っています。がん細胞にプラズマを照射するとがん細胞が死滅するのですが、正常な細胞にプラズマを照射すると成長が促進されます。なぜこのような現象が起こるのかといった、メカニズムの解析が、プラズマの医療応用につながるため、プラズマ照射における細胞応答の解析を行っています。

学内で一番好きなイベントは、学祭(技科大祭)です。私はアカベラサークルに所属しており、毎年、技科大祭ではライブを行っています。大がかりなビッグ大会や、有名な芸人さんを招いたステージもあり、とても楽しめます。また、バレンタインイベントやクリスマス会など、学友会が主催するイベントに参加するのも楽しいです。

豊橋技術科学大学がもっとよくわかる！ その他ツールをご紹介

TUT Research

研究広報に特化したウェブマガジン。特集記事のFeature Storyを始め、Research Highlightsでは 本学の最新の研究成果を発信。

SNS

SNSで身近な話題を発信中。ギカダイの最新の出来事や学内風景写真をアップしています。

Radio

教員の研究内容やギカダイ生の活動がわかる！楽しくわかりやすいラジオ番組「天伯之城 ギカダイ」
・放送局：エフエム豊橋(84.3MHz)
・放送時間：毎週土曜17時過ぎより
・番組名：「天伯之城 ギカダイ」
(「84の3(やしの実) ウェーブ THE BURRN(サ・バーン)」内)

世界

TUT Research

Facebook・Twitter
YouTube

天伯之城 ギカダイ
(ラジオ番組)

地域

『大学案内』

受験生が知りたい情報がこの一冊ですべて分かる！どんな課程・コースがあるの？入試は？就職先は？？学生支援はどんな感じ？

『大学案内』や「TUT Research」など、本学の主な刊行物はこちらからご覧いただけます。



ラジオ番組

てんぱくのしろ

『天伯之城 ギカダイ』より

放送した中から特におもしろい研究内容を、ここで2つご紹介します。

豊橋技術科学大学はエフエム豊橋(84.3MHz)とのコラボレーションにより、
本学のアクティビティを広く皆様にご紹介するラジオ広報を放送しています。

●こちらから過去の放送分の音声データをお聞きいただけます♪

<https://www.tut.ac.jp/castle.html>



エフエム豊橋の人気パーソナリティ渡辺欣生さんが、毎週、本学のいろいろな研究室、サークルなどを訪問し、
普段、素朴に思う技科大の「なに?なぜ?どうして?」を分かりやすく紹介しています。

マイクロLEDが拓く未来、 そしてバイオ応用

電気・電子情報工学系准教授 関口 寛人

ものが燃えるときに現れる パターンについて

機械工学系准教授 松岡 常吉

Qいつの間にか周りの電球はすっかりLED
に替わりましたね。

A最近「マイクロLED」と言って従来のLED
より1/10、1/100. もっと小さいLEDを集
積化させる技術があるんですよ。
数センチ角の面積に数千万個が並ぶって
いうスケールです。

まだ研究室の段階で市販されていない
ですが、もう2〜3年の間に様々なところに
使われると思います。身近なものではスマ
ホの画面でしょう。液晶は使わず一つの
画素をLEDにすることでバッテリーの持
ちが格段に良くなります。

Qで、実はそのマイクロLEDを使った躯体が
我々の前にあります。

黒い箱の上でさっきから青い光の点がピ
カピカ点滅しています。

Aこれは我々が作ったもので、1センチ角の
中に1万5千のLEDを敷きつめてランダム
に光らせています。この部屋は結構明るい
かと思いますが青い光がはっきり見えます
よね。これは青色ですが、赤でも緑でも作
れます。

Q関口先生は今、マイクロLEDでどんなこと
をしようとしてるんですか。

A私はこれをバイオに応用したいと考えてい
るんです。特に「脳」の活動を調べるのにマ
イクロLEDを使うことを考えています。脳の
特定の場所に光で刺激を与えることで、脳の
どこを刺激するとこの脳の活動が活
性するのか調べるのにマイクロLEDを使
おうと研究しています。今までは薬や電気
で刺激して調べていたんですが、薬は次の
刺激を与えるとき前の薬が完全に抜ける
のを待たなきゃいけないし、電気は刺激し
た場所以外にも影響を与えてしまう。光なら
「特定の場所へのオン/オフ」が簡単にで
きます。だから「今刺激した場所とどこの
脳が活性化したのか」正確に調べることが
できるんです。

Q脳の中って普段真っ暗だと思んですが、
光に反応するって面白いですね。

A実は実験に使う脳は、遺伝子工学の技術
を使って、光に反応する脳の神経を遺伝
子的に作ってあげてるんです。

Q脳神経に光で刺激を与える実験自体は昔

からあったんですか。

Aそうですね。ただし従来は光ファイバを組
織に刺して実験していました。
それだとマイクロLEDの10倍の太さで脳
に刺すことになり、脳にダメージを与えてい
ました。

Q結構深くまで刺すんですか。

Aマウスの実験では数ミリです。
またマウスがデバイスを頭にのせて自由に
動き回れる大きさにしないといけないので、
デバイスは配線含めて2g以内になるよう
にしています。

Qデバイスを頭に乗せたマウスがもういるん
ですね。で、何かあったんですか。

Aまだ今はデバイスの完成度を高めていると
ころです。
この研究は、医療や半導体など様々な分
野をまたぐ難しさがあって、薬学・医学など
他大学の専門家とコラボしながら進める感
じなんです。

Q薬学・医学の先生も、今まで調べられな
かったデータが出てきたら大興奮ですね。

Aそうなることを願って研究しています。

Qフィンガリングパターンとは何ですか。

A物が燃えるときに現れる指のような模様
のことです。その模様がどのようにできる
のか、どういう条件でできるのか研究して
います。

(動画を見ながら)これはプラスチックの板
を燃やしているんですが、周りの酸素の
流れをすごく小さくしたり、隙間をすごく狭
くしたりすると、それまで一様に燃えてい
たのが、あるところで分裂してランダムに
動きながら複雑な模様を作るんです。

Qあ!ほんとだ。アリが巣を掘っていく感じで
すね。

Aこうした模様は、不安定性が生み出して
います。不安定性とは、ちょっと動くとすぐズ
レるみたいな状態です。

山の頂上にボールを置くことをイメージし
てください。ボールをちょっと押すとダーッと崖
に落ちていきますが、これが不安定な状態。
反対に谷底にボールを置いた場合は、
ボールを動かしても結局谷底に戻ってきま
すよね。これが安定性が高い状態です。

一見同じように燃えていても、実は安定な
ところと不安定なところが混じっていて、安
定な場所はどんどん燃え続けて、不安定な
場所は消えてしまう。こうしてパターンがで
きます。

Q先生はどんな研究をしているのですか。

A紙みたいな薄い物が、消えかけギリギリの
条件で燃えるときにフィンガリングができ
るというのは知られていたんですが、プラス
チック板みたいな厚みの素材で観察した
例がなかったんです。その理由は、物体が
厚いときは不安定性が出るより先に火が
消えてしまうからです。そこで酸素の濃度
を濃くしながら燃える場所を狭くするとい
うことをしました。要するに、激しく燃やし
つづ燃えにくくするというちょっと矛盾する
ような条件を作り出すことで、プラスチック
みたいなものでもフィンガリングパターンが
できることを世界で初めて観察しました。

Qすごい! とは思うのですが、ラジオをお
聞きの皆さんからは「だからなんだ」って
声が聞こえてきそうですが(笑)。

Aこれが将来、火災現場の科学鑑定に役
立ったり、物を燃やすとき、イメージした通
り燃えてくれる技術につながるわけです。
火災現場の科学鑑定なんてすごく難しい
んですが、フィンガリングの研究が進めば、
現場に残った焼け跡(パターン)から、ど
こで火が発生してどういう風に燃え広がっ
ていったのか推定するみたいなことも可能
になるんじゃないかと期待しています。

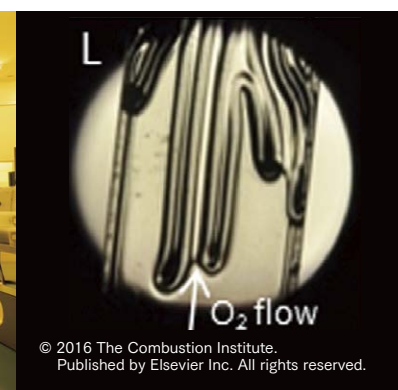
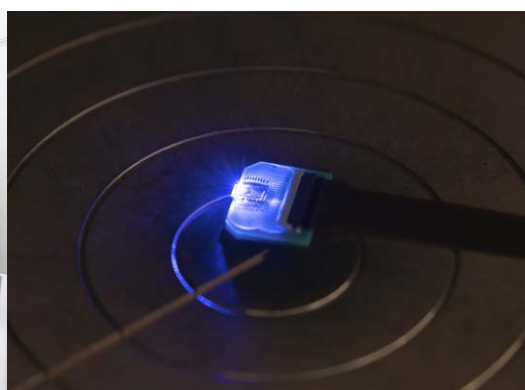
Q指模様の研究が、そういうことにつながる
タネになるんじゃないかなーってぐらいの
距離感ですか。

A「そこまでだいぶ遠いだろう」というご指摘
です(笑)。

そうです。すごく遠いとは思いますが、でも
その第一歩がここかもしれないです。

Q燃焼の世界は奥が深いですね。
炎を見つめる先生の目がキャンプファイア
を見る少年の目になってます。

Aキャンプに行くといつも私が火を燃やす係
ですよ(笑)。



ギカダイ生の今!

海外留学で見た景色

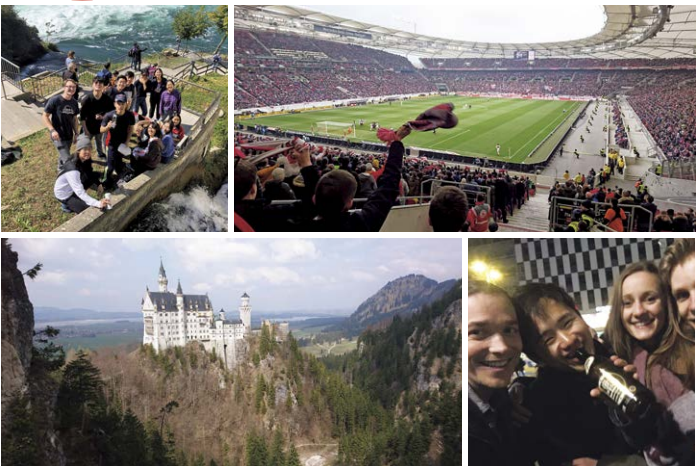




機械工学 博士前期2年、富山高専出身
たにぐち かずき
谷口 和輝さん

ドイツ

豊橋技術科学大学・シュトゥットガルト大学ダブルディグリー・プログラム
博士前期課程に入学と同時にシュトゥットガルト大学(大学院修士課程)に入学し、それぞれの大学にて1年以上の教育・研究指導を受け、修了要件を満たすと、両大学院の学位が取得できる。



日本ではできないような経験

豊橋技術科学大学を進学先に選んだ理由の一つに留学制度が充実していたことがありました。特に私の留学プログラムでは、語学だけでなく研究や専門科目の講義も履修できるため、充実したカリキュラムで勉学に励むことができました。ドイツ留学前はかなり不安を感じていましたが、ルームメイトや他の留学生と直ぐに打ち解けることができ、休日はドイツの美味しいビールを一緒に楽しんだりしました。また長期休みには留学生の友人たちと一緒にドイツ国内やヨーロッパ内の国々も訪れました。留学に少しでも興味があれば、挑戦されてはいかがでしょうか。

#2019.3.1~2020.2.29 #ドイツ #シュトゥットガルト
#シュトゥットガルト大学 #Schloss Neuschwanstein(Füssen)、Mercedes-Benz Museum、Reinfall(Switzerland) #ドイツビール #サッカー



建築・都市システム学 博士前期1年、豊川高校出身
やまもと わかな
山本 若菜さん

マレーシア

海外実務訓練
「実務訓練」は学部4年生の必修科目で、産学連携教育として企業で実習を行う。国内企業のみならず、希望者は海外の企業や大学・研究機関での実務訓練が可能。



挑戦することの楽しさを学びました

多くの人に出会い、海外で生活してみたいと思い海外実務訓練を志望しました。寮生活が始まった当初、私はYESとNOしか言えないほどに英語を話すことができませんでした。しかし、優しく明るいマレーシアの先生方や多くの友人に囲まれ生活していく中で、少し勇気を出して、食べたことのないものを食べてみることや、英語・マレー語を話してみるなど挑戦することの楽しさを学びました。辛い食べ物だらけで、シャワーが水のみだったこと、トイレがびしょびしょだったことも含めて海外実務訓練での経験と出会いは私の大切な宝物です。Sangat Terima Kasih!

#2019.1.5~2019.2.23 #マレーシア #ベナン
#マレーシア科学大学・REDAC
#George Town #Nibong Tebal #Saya suka buah



情報・知能工学 博士前期1年、広島商船高専出身
ふじい たくや
藤井 琢也さん

フィンランド

豊橋技術科学大学・東フィンランド大学ダブルディグリー・プログラム
博士前期課程に入学と同時に東フィンランド大学(大学院修士課程)に入学し、それぞれの大学にて1年以上の教育・研究指導を受け、修了要件を満たすと、両大学院の学位が取得できる。



様々な文化的・宗教的背景の価値観に触れることができる

フィンランド滞在中も5カ月目に入り、こちらでの生活も日本と変わらないなと感じています。出発前までの様々な不安が嘘のようです(笑)。フィンランド政府が教育に力を入れていることもあり、大学には多くの留学生が世界中から集まっています。実際、受講した授業では留学生が過半数を占めており、様々な文化的・宗教的背景の価値観に触れることができ、毎日が新鮮です。このような環境で学生生活を行うことは、勉強面だけでなく、人としての成長を大きく助けてくれていると実感しています。後押ししてくれた指導教員や家族、友人に感謝です。

#2019.8.15~2020.9.30 #Finland #Joensuu
#University of Eastern Finland #Double Degree Program
#FaceBookのプロフィールカッコよくなる



応用化学・生命工学 学部3年、香川高専出身
おざき ゆうすけ
尾崎 友亮さん

フィリピン

羽ばたけ!TUT学生海外研修応援キャンペーン
本学オリジナル企画の海外研修及びフリープラン型海外研修に参加する学生を支援し、より多くの学生に海外研修の機会を提供する。



途上国の問題を解決したい大きな糧となりました

私は開発途上国の廃棄物、貧困問題を解決する適正技術の検討、開発するための経験を得るため羽ばたけフリープラン型研修の支援を受けました。ジャンクショップで劣悪な環境の中仕事をしている方々、貧困地域で生活している方々、ストリートチルドレンとして生きている子どもたちは、一日の生活費を稼ぐことに必死ながら、将来良い生活をしたいと望んでいました。貧困地域でのホームステイを含め、現地の方々に密着した活動は、私の価値観を変え、今後の途上国の問題を解決したい自分の気持ちの大きな糧となりました。

#2019.9.15~2019.9.21 #フィリピン #マニラ #認定NPO法人ソルト・バヤタス
#バヤタス地域 #カングラハン地域 #ジャンクショップ
#スラム #貧困地域 #衛生環境の劣悪さ



機械工学 博士後期1年、新居浜高専出身
まつぎ だいき
松木 大輝さん

タイ

JSTS/ISTS (持続可能な社会構築への貢献のための科学技術に関する日本セミナー・国際セミナー)
SDGs17をベースとしたワークショップや様々な交流活動をおとしてグローバルリーダーに不可欠なグローバルコミュニケーション能力と多様な集団で協働する能力を向上させることを目的に開催される。



多様な考え方を吸収でき視野を広げることができました

言語も文化も異なる環境に身を置き、現地の人々と意見交換を行うことで、多様な考え方を吸収でき視野を広げることができました。写真はワークショップ時にタイの友達と撮ったもので、様々な国の学生と共通の課題に向き合い、課題解決の糸口を見つけるために協力したことは大変良い経験でした。また、アユタヤでのエレファントライディングも印象的であり、勉強だけではなく現地で観光したことは日本では味わうことのできない感覚に浸ることができ、これもまた良い経験でした。最終日には、ワークショップの成果を英語で発表し、英語力の向上も図ることができ、大変有意義な海外経験をしました。

#2019.10.7~2019.10.14 #タイ #バンコク #タマサート大学
#アユタヤ #エレファントライディング



電気・電子情報工学 博士前期1年、長野高専出身
なか かなた
田中 哉太さん

マレーシア

博士課程教育リーディングプログラムグローバルサマースクール
リーディングプログラム(産業界、海外連携拠点と連携し、人間の理解に立脚した新しい技術の地平を切り拓く博士人材「ブレイン情報アーキテクト」を養成することを目的としたプログラム)で、マレーシア科学大学と合同で約2週間にわたって行われるサマースクール。マレーシアの先住民が暮らすエリアでフィールドワークを行う。



国際的に活躍するために必要な実用的な経験を積んできました

約1週間、マレーシアのコタキナバルでマレーシア科学大学の方々と一緒にフィールドワークを行ってきました。小学校やジャングルの近くにある村で記憶に関する実験データ集めや、最後には発表会を行うことで国際的に活躍するために必要な実用的な経験を積んできました。小学校を訪れた際に日本の怖い話をせがまれたのですが、自分より詳しくったことはとても印象的でした。アニメや漫画以外にも有名な創作物があるとは思っていませんでした。マレーシアにはおいしい果物や豊かな自然、優しい人たちが猫もいるといった、研究者として国際的に活躍していくための経験だけでなくマレーシアのことも知れたことが良かったと感じています。

#2019.9.13~2019.9.23 #マレーシア #コタキナバル
#ジャポン玉の写真は独立記念日の催しの時に撮影 #キナバル山 #聖アグネス
#マレーシアは寒い #マレーシアの小学校で流行る日本の怖い話



電気・電子情報工学 博士前期1年、東京高専出身
よしはら ゆうき
吉原 優紀さん

イギリス

官民協働海外留学支援制度〜ビタビタ!留学JAPAN日本代表プログラム〜
文部科学省及び日本学生支援機構による企業等と連携し、グローバル人材育成のコミュニティを構築、海外体験を通じて、世界で活躍できる人材を目指す海外留学支援制度。



学生の政治観や国民性まで垣間見ることができる

海外で活躍できる技術者になりたいという思いと、海外での学生生活への憧れと興味から、半年間の課題解決型インターンシップを履修しました。渡航当時、英国はちょうどEU離脱で揺れる最中でしたが、ヨーク大学は世界中から学生が集まる英国屈指の大学。多国籍な研究メンバーや効率重視の研究スタイルだけではなく、困難に直面する学生の政治観や国民性まで垣間見ることができる、とてもいい機会になりました。ヨークは中世の面影を残す古都で、大学帰りに街をぶらついたりと、週末はシェアハウスの友人と出かけたたり、充実の毎日を送ることができました。

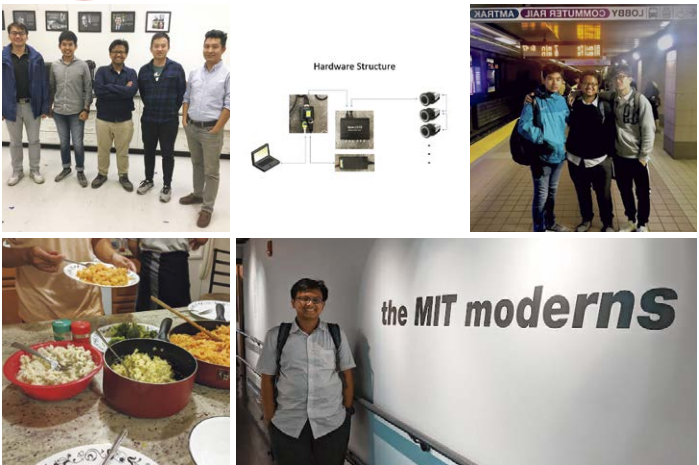
#2019.1.4~2019.7.3 #イギリス #ヨーク
#University of York #ヨークの友人 #中世の街並み
#紅茶がおいしい #お酒もおいしい



機械工学 学部3年、群馬高専出身
アイマン ファルク
Aiman Faruqさん

アメリカ合衆国

羽ばたけ!TUT学生海外研修応援キャンペーン
本学オリジナル企画の海外研修及びフリープラン型海外研修に参加する学生を支援し、より多くの学生に海外研修の機会を提供する。



新しいバイオニクスイノベーションの設計をしたい

私は将来、新しいバイオニクスイノベーションの設計をしたいと思っています。バイオニクスによって、身体が不自由な方が思った通りに動かせると義足や、肉体労働者の身体的負担を減らす機械などを作ることができます。夏休みに、主に人間の身体機能を補助する外骨格装置に関する研究を行っているニューヨーク市立大学の研究室で4週間を過ごしました。モーションキャプチャーシステムの構築およびテスト運用を行うプロジェクトを任せられ、初期セットアップや自分自身を被験体に実際にモーションキャプチャーを行いました。多文化都市のニューヨーク。ニューヨークの道でアメリカ人かそうではないかを見分けることは出来なかったです。

#2019.9.5~2019.9.31 #アメリカ #ニューヨーク #ニューヨーク市立大学シティカレッジ
#Biomechatronics and Intelligent Robotics Lab #マサチューセッツ工科大学の博物館
#ボストンのサウス駅に旅行 #節約のため皆で料理を作った

輝く★ギカダイ卒業生！

2019年11月16日開催のホームカミングデー講演者の中から、本学を卒業して企業経営者としてご活躍中の、佐藤小次郎社長にお話を伺いました。

MESSAGE 04

戸田道路株式会社 代表取締役社長(1982年3月 旧建設工学専攻 修士課程修了)

佐藤 小次郎 氏

「ものづくり」の達成感や技術者としての矜持が重要



■会社の特徴・大切にしていることは何ですか？

キャッチフレーズは『未来につながる確かな道づくり』。『人を大切に、技術の研鑽に努め、事業を通して社会に貢献します』を当社の経営理念としています。戸田建設(東証一部上場のゼネコン)グループの中核会社として舗装工事、上下水道工事、電線共同溝工事など、皆さんが安心して豊かなくらしを享受できるような社会資本を整備するという大切な仕事の一翼を担い、業績を着実に拡大してきました。

■大学に通っていた頃の一瞬の思い出は何ですか？

大学院の2年間は豊橋駅近くの上伝馬町に下宿しており、その頃によく通っていた居酒屋さんがあります。父と同年代の親父さんが経営している『一休』という居酒屋で、研究室からの帰宅途中に良く立ち寄りました。その時、常連さんにただ酒をご馳走になったこともあります。議論好きで海の物とも山の物とも知れない若者を、豊橋の皆さんは温かく見守って下さいました。これが一番の思い出です。

■大学で学んだことで、仕事に役立っていることはありますか？

大学で研究していたことは河川や水文の研究。水工研究室に所属していました。意識していたわけではありませんが、これが前職とピッタリと当てはまったのです。まだ戸田建設に務めていた頃、28年間従事していたのはダム現場。ダムは河川を切り回し河川内に構造物を造る工事のため、大学で学んだことがとても役立ちました。

■仕事でのやりがいや、今後の課題を教えてください。

厳しい自然条件の中、チーム一丸となりダムなどの構造物を造り、それに対して、地元の皆さんから労いの言葉を頂いた時に土木技術者としてのやりがいを強く感じます。現在は、会社の経営に携わっておりますが、若い職員に「ものづくり」の達成感や技術者としての矜持を経験させること。これはとても重要なことと考えております。

■学生(高校生や高専生、技科大生)へ向けたメッセージをお願いします。

ゼネコンやサブコンでは高専や技科大出身の会社幹部を多数輩出しております。高専や技科大の出身者の実力が適正に評価される時代。良く学び、良く遊び、そして色々な立場で社会に貢献できるように、何事にも前向きに取り組んでください。



News & Topics

第36回(2019年度)オープンキャンパスを開催しました。 今回は、2020年8月22日(土)開催予定。

8月24日(土)に第36回(2019年度)オープンキャンパスを開催しました。学生からご家族連れまで、2,390名もの方々にお越しいただきました。

2020年度は8月22日(土)に開催予定です。研究室や学生の様子、大学の雰囲気など、来て見て聞いて体験できるオープンキャンパスに是非お越しください。



高校生向けと高専生向けの進学説明会



ギカダイの教員による模擬授業



小さなお子さん、体験や工作を楽しみました



研究室公開では、普段見ることのできない設備・研究成果がいっぱい

文部科学省

「大学の世界展開力強化事業」に採択！

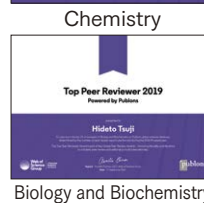
修士学生を育成する本学の「近未来クロスリアリティ技術」を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム(IMLEX: Imaging and Light in Extended Reality)が採択され、ヨーロッパの大学との連携がさらに強化されます。

このプログラムは、本学と東フィンランド大学(フィンランド)、ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)、サンティエニヌジャン・モネ大学(フランス)の4大学によるコンソーシアムによって実施され、本学大学院工学研究科 情報・知能工学専攻及びこれらのヨーロッパの大学に所属して学位取得を目指すプログラムで、本学では2020年4月からスタートします。



応用化学・生命工学系 教授 辻 秀人が、Global Peer Review Awards 2019(The Top 1% of reviewers)を3分野で受賞しました。

2018年9月～2019年8月の1年間で、化学(Chemistry)分野・生物及び生化学(Biology and Biochemistry)分野・複合領域分野(Cross-Field)の3分野それぞれにおいて、学術論文を非常に多く審査した(世界のトップ1%に入った)ことに対し表彰されたものです。辻教授が研究を行っている「ポリ乳酸」は、植物由来であり、環境における生分解性を有する材料で、環境負荷低減の観点から非常に注目されています。これら3分野における受賞は、学術的影響力の高さを証明と言えるでしょう。研究活動のさらなる発展への期待が高まります。学術論文の審査は研究者のボランティア活動であり、審査員の多大な労力が必要です。ジャーナルのレベルを維持するために必要不可欠な存在であるにも拘らず、その仕事が評価されることはありませんでした。Publonsにより学術論文審査実績が認定され公表されることで、学術論文審査を積極的に行う研究者が増えていることは喜ばしいことです。



役員から未来を担う学生へメッセージ

2020年3月をもって任期満了の3名の役員から、伝えたいメッセージがあります。

学長 大西 隆

このキャンパスからは、田園風景はもとより、太平洋に繋がる海岸段丘、奥三河の山々、時に富士山も遠望する壮大な景色を楽しめます。勉強に疲れたら、ちょっと学内を散策して、移り変わる空の色や広々とした風景に浸って、気分転換を図ってはどうか。やる気が湧いてきますよ。

理事・副学長 大貝 彰

君たちは、日本を代表する技術者・研究者として将来世界で活躍すると確信しています。幅広い知識を身に付け、自信と気概をもって、世界に羽ばたいて下さい。その大前提は健康な心身です。研究室だけにこもらず、大いに体を動かし、友と語り、キャンパスライフを謳歌して下さい。

理事・副学長 寺嶋 一彦

私が学生の頃と比べると大学設備はよくなり、情報獲得がすぐにできます。一方、人間の体力はそうは変わっていません。またグローバル社会になり色々な人々との付き合いが増えています。他人と違うところを認識し、独創性とコミュニケーション力、体力を身に着け頑張ってください。

※2020年4月からは寺嶋 一彦が学長に就任予定



イベント Report

第1回ホームカミングデーを開催しました。

2019年11月16日(土)に豊橋技術科学大学「初」となるホームカミングデー2019を開催しました。

「技科大、豊橋、青春の地に集合！」をメインテーマに、ギカダイ卒業生及び教職員OB・OGが、ここ豊橋技術科学大学に集結しました。

さまざまな思い出が語られるとともに、若かりし頃の姿がスクリーンに映し出されると歓声や笑い声があがっていました。

また、施設見学ツアーも行われ、時代を経て進化したギカダイをご覧いただきました。「あの学生宿舎の1階のあそこの部屋に住んでいた！」など、昔の記憶が鮮明に蘇ったり。夕方からは交流会が開かれ、懐かしい恩師や友人との再会で大いに盛り上がりしました。

「ONE TEAMとなり、本学を一層盛り上げていきたい。」開学から43年。過去と現在がつながり、未来へ続く架け橋がはっきり見えたような気がしました。

